

新たなスタート

2月7日(日)、復興事業のかさ上げにともない、近くのプレハブに移転した伊里前福幸商店街のオープンイベントが開催されました。新しい商店街は海産物販売店や衣料品店、電気店など10店舗が軒を連ね、この日は各店舗でオープン記念価格での販売や店内商品の割引セールが行われました。関係者がテープカットし、開かれたオープンイベントでは、和太鼓による演舞が披露されたほか、オクトバスくんやポストくんも駆け付け、新しい商店街のスタートを祝いました。



台湾の高校生が教育旅行に来町

1月26日(火)と27日(水)の2日間、台湾の高校生が教育旅行で町を訪れました。町を訪れたのは台南第一高級中学の約70名の高校生で、一日目は町内で民泊、二日目はひころの里にてまゆ細工体験や南三陸病院を訪問しました。今回の教育旅行は、昨年12月に開業した南三陸病院の建設費に、台湾紅十字組織から約22億円の寄附をいただくなどの復興支援が縁で実現したものです。病院前では、住民らが「熱烈歓迎」と中国語で書かれた横断幕を掲げ生徒たちを出迎えました。生徒たちは病院敷地内に建てられた台湾への感謝を表す石碑の見学や震災の語り部を聴くなど、町内で震災学習を行いました。

町内施設めぐり

2月5日(金)、戸倉婦人会が“戸倉地区女子会町内施設めぐり”として町内施設を見学しました。震災前は慰問活動などを行っていた戸倉婦人会ですが、今回は町の復旧・復興が進む中で新しい施設が増えてきたことを受け、総合ケアセンター南三陸や小森ふ化場、南三陸BIOなど計6カ所の施設を見学しました。家庭で分別している生ごみがリサイクルされる工場を見学した参加者たちは、実際に施設を見て説明を聞き、分別する意識が変わったと話していました。



第11回南三陸町ジュニア綱引大会 入谷小チームが2年ぶり4回目の優勝！…

2月7日(日)、バイサイドアリーナを会場に「第11回南三陸町ジュニア綱引大会」が開催されました。この日のために練習を重ねてきた、町内5小学校の3年生以上の子どもたち、14チームが白熱した予選リーグを行い、4チームが決勝トーナメントへ。

大人顔負けのチームワークと力強さで決勝トーナメントを制したのは、「入小引っぱり隊」でした。

◇試合結果

優勝 入小引っぱり隊
準優勝 志小レジェンド
第3位 名小6年スイート15
敢闘賞 志小シャイニング



優勝 入小引っぱり隊



準優勝 志小レジェンド



第3位 名小6年スイート15



敢闘賞 志小シャイニング

全日本交通安全協会長 表彰を受賞！

南三陸地区安全運転管理者会（沼倉正也会長）がこのほど全日本交通安全協会長表彰を受賞しました。これまでの、交通安全活動や復興事業の大型車両に対する交通安全対策に努めたことが高く評価されての受賞となりました。県内では、同地区安管会を含めて6団体14個人が受賞し、1月15日(金)に東京都内の日比谷公会堂で開催された、第56回交通安全国民運動中央大会本会議の席上において表彰されました。



ラジオ深夜便のつどい

1月23日(土)、バイサイドアリーナ文化交流ホールにおいて「ラジオ深夜便のつどい」の公開収録が行われました。「深夜便のつどい」は、リスナーとアンカーが直接、言葉を交わすふれあいの場で、年間12回、おおむね月に1回のペースで全国各地を巡回しているものです。今回の公開収録は南三陸町の合併10周年を記念し、行われたもので、第1部は仙台市出身の小説家である熊谷達也さんによる講演会、第2部はアンカーを囲むつどいが行われました。今回の収録は3月10日(木)午後11時20分から翌午前5時までラジオ第1・全国にて、3月11日(金)午前1時から5時までFM・全国にて放送されます。

